
令和3年度
9月補正予算（案）
内示会資料
(新型コロナウイルス感染症対策事業)



奈良市
Nara city

補正予算

事業費総額：14億 34 万 4千円

新型コロナウイルスの急速なまん延から市民の生命、生活及び市内の経済を守るため、
8月補正に引き続き、**感染拡大の防止等と生活・事業継続に困っている方々等への支援を中心に、**
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の活用により、継続して対応します。

I .医療提供体制の整備と感染拡大の防止

7億 2,264万 1千円

- 新型コロナウイルスワクチン接種の推進
- 医療提供体制の強化
- 子どもの感染対策
 - ・ 学校の感染拡大防止対策
 - ・ 避難所の感染拡大防止対策
 - ・ 安全安心な修学旅行対策
 - ・ スクールバス等感染拡大防止対策

II .市民・事業者等への支援

6億 3,170万 3千円

- 高齢者・障害者への支援
- 福祉施設等への支援
- 生活困窮者等への支援
- 地域経済活性化
- 文化芸術活動等への支援

IV.新たなくらしと将来を見据えた経済対策 **4,600万円**

- 新たな価値を生み出す観光
- 地域経済力の強化

新型コロナウイルスワクチン接種の推進

1 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保

6億 7,660万 7千円

(担当課：新型コロナウイルスワクチン接種推進課)

高齢者接種の前倒し、ワクチン供給の不足という状況に対応しながら、希望する人に2回接種をするための体制確保を行うための経費
(12月末まで分)

■経費 (主なもの)

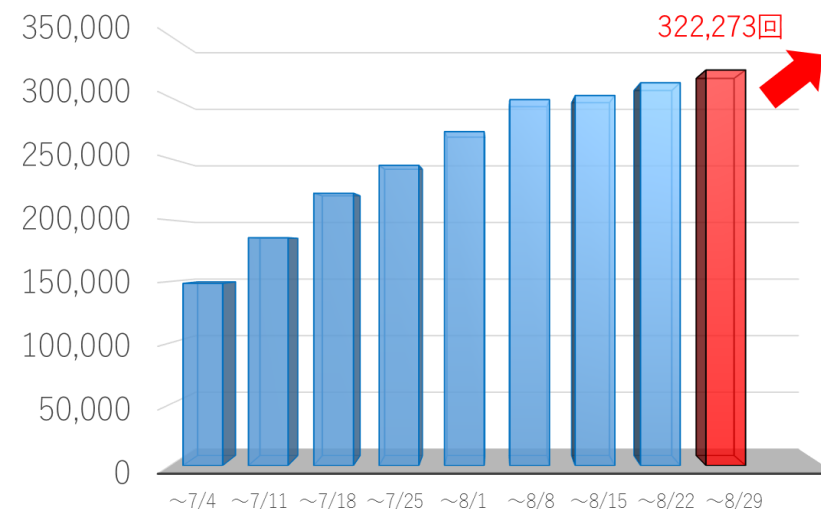
人件費：ワクチン接種事務に係る会計年度任用職員
〔2億1,933万1千円〕

通信運搬費：接種券の郵送等〔2,172万7千円〕

委託料：接種会場運営等〔3億9,727万4千円〕

使用料：接種会場借上料等〔1,004万7千円〕

ワクチン接種回数



※接種後、データ入力に一定の期間を要するため、国が発表する数字とは異なります。



医療提供体制の強化

2 診療所等における感染拡大防止

375万円

(担当課：障がい福祉課、医療政策課)

みどりの家歯科診療所、田原等の各診療所、休日夜間・歯科応急診療所、医療検査センターにおける院内感染拡大防止対策のための支援を行う。

子どもの感染対策

3 学校における感染拡大防止対策

1,953万 6千円 (担当課：教育総務課)

新型コロナウイルス感染症対策のためには、室温18℃以上、湿度40%以上とすることが有効であるとされ、気温低下や乾燥によりウイルスにとって好条件である秋冬の更なる感染予防対策のため、昨年度未導入の教室にも業務用加湿器を導入する。

5 安全安心な修学旅行対策

1,760万円 (担当課：医療政策課)

小・中学校の修学旅行実施前に、児童・生徒等に対し抗原検査を実施するための経費

- 抗原検査キット：約5,700人分



4 避難所における感染防止対策物資の備蓄

154万 8千円 (担当課：危機管理課)

子どもに対する新型コロナウイルス感染症対策のため、避難所の備蓄物資として、子ども用マスクを購入する。

- 幼児用不織布マスク：約10,000枚
- 子ども用不織布マスク：約25,000枚

6 スクールバス等の感染拡大防止対策

360万円 (担当課：教育総務課他6課)

スクールバス、コミュニティバス等に抗菌・抗ウイルス加工を施し、市民等が乗車する際の感染リスクを軽減する。



高齢者・障害者への支援

7

単身高齢者世帯見守り支援

481万8千円（担当課：福祉政策課）

単身高齢者（70歳以上）へ訪問を行い、高齢者の孤立を防ぎ、地域とのつながりが切れないよう、民生・児童委員などによる見守りを行うとともに、マスクを配布し、ワクチン未接種者への接種勧奨や感染防止対策についての声掛けを行う。

8

視覚障害者情報提供強化

150万円（担当課：障がい福祉課）

視覚障害者が情報弱者とならないように、市の広報の点字版を製作し、新型コロナウイルス感染症等に関する情報提供を迅速に行えるようにする。

福祉施設等への支援

9

在宅ケア継続支援

510万円（担当課：障がい福祉課、介護福祉課）

介護者が新型コロナウイルスに感染した際に、高齢者や障害者（児）等が自宅に取り残される事態を防ぐため、引き続き在宅介護等を受けられるよう支援を行った事業者に対し協力金を支給する。

- 対象施設：訪問系のサービス事業所等
- 協力金：15万円/事業所

10

介護施設整備費等補助

3,324万円（担当課：介護福祉課）

介護施設における感染拡大防止のため、家族面会室整備、個室・多床室ゾーニング改修、換気設備設置に係る費用を補助する。

- 家族面会室整備：7施設（補助金：上限350万円/施設）
- ゾーニング改修：1施設（補助金：上限600万円/箇所）
- 換気設備：1施設（補助金：4千円/延床面積1㎡）

生活困窮者等への支援

11 学生への支援

2,000万円 (担当課：人事課)

新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の悪化を受け、アルバイト収入を失うなど、経済的困窮状況にある学生を経済的に支援し、学生の力を地域課題解決に活用する。

13 ひとり親世帯への商品券配布

8,719万8千円 (担当課：子ども育成課)

新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けている、ひとり親世帯（児童扶養手当受給世帯等）に対する支援として商品券を配布する。

■ 対象：2,600世帯×30,000円

12 フードバンク事業におけるお米提供

2,791万3千円 (担当課：子ども育成課)

子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、フードバンク事業において、お米を提供する。

■ 対象：
ひとり親世帯等
大学生
子ども食堂等



14 医療従事者等への商品券配布

8,300万円 (担当課：医療政策課)

新型コロナウイルス感染症と日々闘う医療従事者等に対する感謝の気持ちとして商品券を配布する。

■ 対象：15,000人×5,000円

地域経済活性化

15 プレミアム付商品券（第2弾）の発行 **3億4,000万円**（担当課：産業政策課）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い売上が減少している
市内事業者を支援することを目的として、プレミアム付
商品券を発行する。

■ 事業概要

発行総額：最大18億円

発行冊数：最大15万冊

販売価格：1冊10,000円（+プレミアム分2,000円）

取扱店舗：市内小売店・飲食店等 約1,500店舗

■ 対象

市内在住の全世帯
※応募多数の場合は
抽選

※1世帯あたり最大
5冊まで申込可能



文化芸術活動等への支援

16 文化・芸術プログラム実施への支援 **1,519万6千円**（担当課：文化振興課）

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や延期、縮小を余儀なくされている文化芸術活動を支援するため、オンライン開催など、感染症対策を踏まえた文化芸術イベント実施に必要な費用を補助する。

■ 補助額：上限50万円/事業

17 文化施設使用料の還付 **922万6千円** （担当課：文化振興課）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、文化施設の使用をキャンセルされた方に対して、既に支払われた使用料を還付する。

18 利用料金収入により公の施設の運営管理を行う 指定管理者への減収補てん **451万2千円**（担当課：月ヶ瀬行政センター地域振興課）

新型コロナウイルス感染拡大防止のために施設利用を制限していた施設（梅の郷月ヶ瀬温泉、ロマントピア月ヶ瀬、湖畔の里つきがせ）において、当該期間中に発生した減収を補てんする。

新たな価値を生み出す観光

19 観光コンテンツ造成補助

3,100万円

(担当課：観光戦略課)

新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、宿泊を促進し、観光消費額の増加に寄与する観光コンテンツの造成・磨き上げ等に対し、経費の一部を補助する。

■ 補助対象事業

滞在型コンテンツ、旅行商品等の企画開発 など

■ 補助額 上限300万円/事業



地域経済力の強化

20 プログラム養成講座による就労支援

1,500万円

(担当課：産業政策課)

ひとり親をはじめとした、コロナ禍で就労機会を失った方、経済的困窮が深刻な方、転職を余儀なくされた方等に対し、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進などにより需要が高まる「IT職種」の育成に焦点を当てたリスキリングを促進し、IT職種への就職を支援する。